JERコンクリート補改修協会

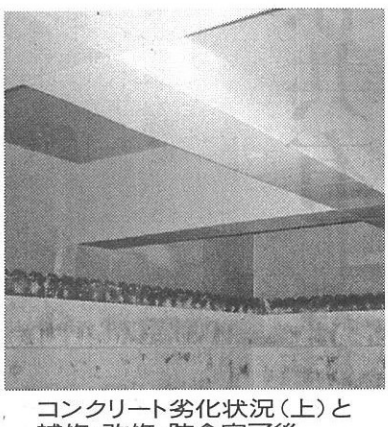
マンホール防食工法で新たに審査証明

適材適所の工法選定可

下水処理施設（処理場・ポンプ場・管渠・人孔等）のコンクリート施設では、硫化水素に起因して生成される硫酸による腐食劣化が生じることは周知のとおりである。下水道は高普及率時代であり、膨大な施設がストックされるとともに、老朽化と劣化が進むため、今後、これらの施設を維持管理し長寿命化を図るためには、計画的に体系的で効率的な補改修対策を行うことが重要となっている。

JERコンクリート補改修協会は塗布型ライニング、シートライニング、モルタルライニング工法など各種の材質による様々なコンクリート防食被覆工法を協会認定工法としてラインアップしている（図-1）。この他にも協会認定製品として、劣化部除去後の断面修復材料として、超微粒子高炉スラグ系耐硫酸モルタル「ZモルタルAR」などもラインアップしている。

下水道コンクリート構造物の腐食環境条件や供用条件、維持管理特性等に応じて適材適所の工法を選定することにより施設の長寿命化が可能になる。



コンクリート劣化状況（上）と補修・改修・防食完了後

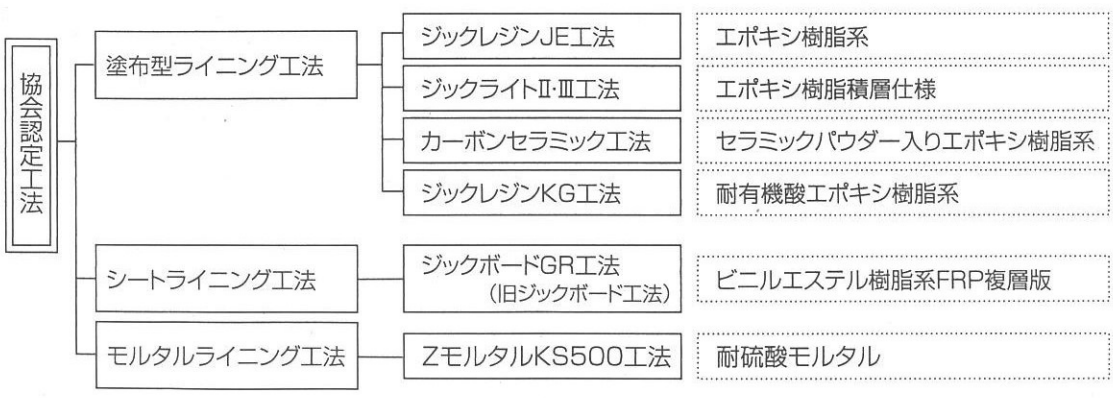
管路部会認定工法

２０１６年６月にJERコンクリート補改修協会内に管路部会が発足し、管路施設（マンホール・管渠等）の改築・更生・防食・修繕等に係わる優れた技術・工法の普及を推進している。下水道用マンホール更生工法および防食工法・シートライニング工法――として、ジックボードM工法の建設技術審査証明（下水道技術）第２１２４号を取得している。

また、下水道自立マンホール更生工法としてジックボードJ工法の建設技術審査証明（下水道技術）第１９０７号を取得している。更生工法は耐荷性能や耐震性能等を有する。

また、下水道マンホール防食工法で、ZモルタルKS５００M工法の建設技術審査証明（下水道技術）第２２１０号を新たに取得した。

各種防食工法は、「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」で分類している各種腐食環境に対する適合性を有し、全国各地の下水処理水槽・マンホール・管渠等で多数の施工実績を有している。

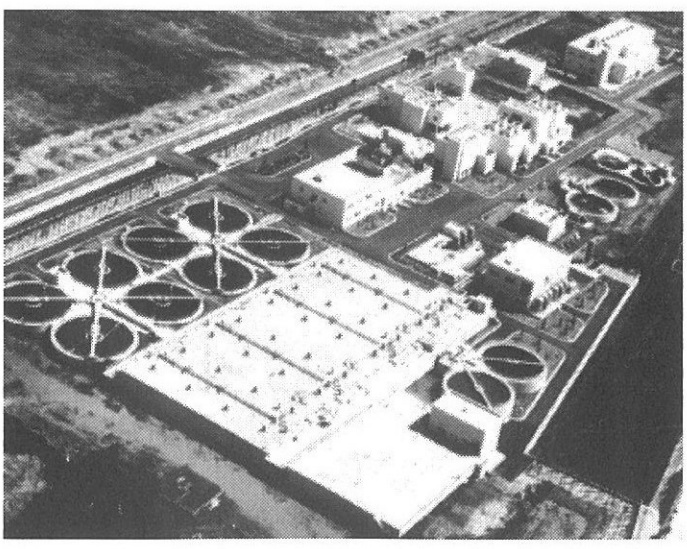


図―1　協会認定工法のラインアップ

コンクリート構造物の防食から長寿命化対策まで、
適材適所の技術提案と確かな施工品質で課題解決に応える

「コンクリート補改修の専門技術者集団」

「JERコンクリート補改修協会」の前身にあたる「JER認定施工協会」は、コンクリート防食に携わる施工会社、材料製造会社による技術開発、技術研修会や専門技術者の育成等の活動を重ねてきました。これを継承しつつ、コンクリート防食で長年培われたコンクリート構造物の補改修技術や対策実施の経験を活かし、農業用水路、橋梁施設等の社会資本ストックにみられる各種コンクリート構造物の長寿命化対策への活動にも今後積極的に取り組み、社会貢献を果たしていく協会団体へと転身していく為、平成28年6月に「JERコンクリート補改修協会」と改名しました。同時に、協会内に分科会「管路部会」を発足し、下水道管路施設の長寿命化対策にも対応いたします。



JERコンクリート補改修協会認定工法

①ジックレジンＪＥ工法
エポキシ樹脂ライニング工法
（民間開発技術審査証明第408号）
②ジックライトⅡ・Ⅲ工法
エポキシ樹脂積層工法
③カーボンセラミック工法
カーボン繊維入りセラミックライニング工法
④ジックレジンＫＧ工法
耐有機酸エポキシ樹脂系
⑤ジックボードＧＲ工法（旧ジックボード工法）
成型品被覆工法（シートライニング工法）
建設技術審査証明（下水道技術）第1839号
⑥ＺモルタルＫＳ500工法
モルタルライニング工法

対象施設　：上水道施設・下水道施設などの各種施設の新設・補修改修工事、防食工事

JER JERコンクリート補改修協会

〒651-2116　神戸市西区南別府１丁目14-6
（事務局：日本ジッコウ（株）内）
TEL.078-977-0701　FAX.078-977-0722
URL：https://www.jer.jp　E-mail:info@jer.jp